

子ども一人一人が自分の成長を振り返り、仲間や保護者の方に、
自分の夢や決意を語った。

5年生 「夢 work 体験」(9月12日)

6年生 松葉防災プロジェクト(6月～7月)

3年生～6年生 「ようこそ先輩」(6月16日)

② 本年度の「ようこそ先輩」

15名の校区の方々を講師に招き、3年生から6年生までの児童と保護者が、「あんな大人になりたいな」 すてきな大人、粋な大人、あこがれの生き方、プロの流儀にふれた。

③ 本年度の「夢 work 体験」

5年生の児童が校区25カ所の事業所に分かれて訪問し、体験をしながら、働くことの厳しさ、やりがいについて多くのことを学び、感じる事ができた。真剣に夢を考える良い機会となった。



「ようこそ先輩」



4年「二分の一成人式」



5年「夢 work 体験」



5年「夢 work 体験」

(2) 活動の詳細

① 活動内容

ア. 活動分野（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input checked="" type="checkbox"/> 17. その他 (地域学習)		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

主に地域の人々との交流から生き方等の学習をしたため、使用した教材は、講師をつとめていただいた方により様々である。

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

「未来へつなぐ 夢 デザインプロジェクト」は、1年生から6年生までを見通した「キャリア教育」という考えを軸に、生活科や総合的な学習の時間、行事等に関係性をもたせ、学年を追って「夢をもつこと」「働くということ」「生きがい」について体験を通して学んでいく。

教育課程作成においても、以上のことを念頭において、各教科とのつながりも考えに入れながら学年に応じた指導をしている。

「ようこそ先輩」は学年の枠を超え、家族単位で将来について話し合うきっかけになっている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

学年ごとの活動内容が年間計画として示され、それに沿って取り組みを進めている。3年生以上が家族単位で生き方を学ぶ行事「ようこそ先輩」では、講師となってくださった地域の方々に一対一で教師が担当した。事前の打合せや準備を進めていくうちに、教師自身が様々な分野で活躍されている方から生き方を学ぶことができ、有意義な活動になっている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項1-5に対応

「ようこそ先輩」「夢 work 体験」では、講師をつとめていただいた方や事業所の方、参加していただいた保護者の方、児童から毎回アンケートをとり、成果についてまとめるようにしている。

保護者からの感想からは、「普段できない貴重な体験ができた」「生き方を考えるいい機会になった」などの内容が毎年寄せられている。

今後、講師をつとめていただく方や体験の場をどのように選出し、求めていくかが課題となっている。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（２００字程度）

活動の内容は主に学校便り「はぐくみ」に掲載し、保護者や校区の方々に伝えている。同時に本校ホームページにも「はぐくみ」を掲載している。校区の方からは、この取り組みに対して好意的な感想が寄せられている。「夢 work 体験」は、体験した感想を５年生の児童が一人一人新聞にまとめ、全員の分を冊子にまとめ、事業所に届けた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）
（２００字程度）

１１月２４日、２５日に行われた「ユネスコスクール豊橋大会」に職員６名が参加。ユネスコスクールの活動について学んだ。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（２００字程度）

１１月２４日、２５日に行われた「ユネスコスクール豊橋大会」に職員６名が参加。他のユネスコスクールの活動の様子について説明を聞き、本校の今後の活動に大変参考になった。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）

「ようこそ先輩」の活動では、家族単位で地域で活躍しているの方々の話を聴き、その後の家族での会話で将来のこと、親の職業のことなど、普段話さない内容を話し合うことができたという感想が多く寄せられた。

「夢 work 体験」では、5年生の児童がこの体験を通して、働くことの意味、意義、苦労を学ぶとともに、大人の人に対する挨拶の仕方、インタビューの仕方を学ぶことができた。児童も自らの社会性の成長を感じることができた。

- （3）平成30年度の活動計画（200～400字程度）

平成30年度も、「あこがれ・夢 ～将来の自分～」と題して、系統立てて取り組んでいく予定である。朝の活動として行われている（暮しをよくするために自ら見つけて、自ら動き出す）「チャレンジタイム」、学年段階に結びつく講座「ようこそ先輩」、委員会活動等を軸にした生き方教育に取り組んでいく。

第1学年では働くことへの関心を、第2学年では働くことの喜びを、第3学年ではいろいろな仕事を、第4学年では働く人の姿を、第5学年では働く人の心を、第6学年では働くということを、各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等の中で学んでいく。